

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和5年度	会計コード	10	一般会計	事業コード	37835
事業名	児童相談体制強化費					
評価担当課	所 属	子)児童相談所 地域連携課			電話番号	011-622-8620
施策名	子どもの権利の保障が進み、子ども一人一人が自分らしく伸び伸び					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外					
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費			○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理費		
	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助・助成 ○ その他					

事業内容	事業の背景（現在の状況、社会的課題）	令和元年事例に係る外部評価報告書を踏まえて、令和5年3月に「子ども虐待防止に関する職務に従事する職員の人材育成ビジョン」を策定し、各区多職種合同研修などにより児童相談体制の強化を図っているところ。また、国基準や当局が実施した第三者評価により、児童相談所の管轄人口の積極的な見直し検討が求められているところであり、今後は、令和7年度の第二児童相談所の開設後の検証等を踏まえた、更なる体制強化の検討が必要となる。					
	事業内容（何を実施し）	児童相談体制を強化し、困難を抱える子どもや世帯へのよりきめ細やかな支援等につなげるため、令和2年度に策定した第3次強化プランに掲げる各取組を継続・推進するとともに、次期強化プラン策定に向けた協議・検討を進める。 ①児童福祉部会での第3次プランの点検・評価、次期強化プランの審議、第三者評価受審、関連調査 ②人材育成のための研修費(レベ:各区多職種合同研修分) ③相談業務ICT化関連					
	どのような状態にしたい（状態を維持したい）	児童相談体制等への迅速かつ適切な対応及び社会的養育の推進により、子ども達の健やかな成長につなげる。					
	他都市の状況	児童虐待対応件数は全国的に増え続けており、2020年度には全国で20万件を超えて過去最多を更新。児童福祉法等改正の趣旨や国プラン等に基づいて、他都市においても児童相談体制の強化を進めている。管轄人口を50万人以下とする国の基準を受けて、児童相談所の新設等により積極的に管轄区域の見直しを行っている都市もある。					
	市民参加の実施	☐ 企画 ☐ 実施 ☐ 評価 ☐ 対象外					
	令和4年度決算額	10,290 千円	うち特定財源	3,725 千円	正規職員業務量	1 人工	
令和5年度予算額	11,000 千円	うち特定財源	2,742 千円	正規職員業務量	0 人工		
令和5年度決算額	7,230 千円	うち特定財源	2,968 千円	正規職員業務量	0 人工		
令和6年度予算額	12,000 千円	うち特定財源	2,742 千円	正規職員業務量	0 人工		
指標	アウトプット活動指標1	第3次強化プラン			という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
		中間的な検討等	取組実施	取組実施	取組実施	取組実施	取組実施
	↓						
	アウトカム成果指標1	次期強化プラン			という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
				検討	検討	効果検証・調査	効果検証・調査
	指標1の評価、未達理由、今後の考え方	第3次強化プランに基づいて児童相談体制の強化を図っている。進捗状況については、外部委員の意見を踏まえながら、虐待防止対策推進本部会議に適宜報告している。					
	アウトプット活動指標2				という活動、業務を行うことで		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	↓						
	アウトカム成果指標2				という状態にしたい、成果を挙げたい		
		令和4年度実績	令和5年度予定	令和5年度実績	令和6年度予定	令和7年度予定	令和8年度予定
	指標2の評価、未達理由、今後の考え方	第二児童相談所の開設後の検証を踏まえて、更なる体制強化のため次期プランを策定する予定。					
今年度の見直し内容	なし						
来年度以降の方向性	来年度以降、第二児童相談所の効果・検証を行うため調査研究費を計上する予定						